

一般検査

尿検査

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3911 6752	蛋白定性 1A010-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2	(26) 尿糞	試験紙法	(-)		【陽性】腎疾患・過激な運動 ネフローゼ症候群 精神ストレス・起立性蛋白
3912 6754	糖定性 1A020-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	(-)		【陽性】糖尿病・膵障害・肝障害 下垂体機能亢進症・ストレス
3913 6755	ウロビリノーゲン定性 1A040-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	(N)正常		【増加】赤血球破壊亢進症 肝疾患・ビリルビン過剰生成 熱性疾患・腸閉塞
3914 6757	ビリルビン定性 1A055-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	(-)		【陽性】肝細胞性黄疸 閉塞性黄疸・体質性黄疸
3915 6759	pH 1A035-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	4.5~7.5		【高値】嘔吐・尿路感染症筋ジストロフィー 多発性筋炎・過剰換気症候群 【低値】腎炎・高尿酸血症(痛風) 脱水・糖尿病・尿路結石・発熱
3916 6760	潜血 1A100-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	(-)		【陽性】血尿・急性腎炎・腎盂炎 膀胱炎・尿管結石・前立腺炎 溶血性貧血・発作性血色素尿症
3917 6761	ケトン体定性 1A060-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	(-)		【陽性】糖尿病ケトアシドーシス 下痢・嘔吐・飢餓状態・妊娠悪阻 脂肪食・低炭水化物食の摂取
6773	亜硝酸塩定性 1A080-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法	(-)		【陽性】グラム陰性菌による 尿路感染症
2118 6772	尿中食塩 1A085-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2		試験紙法		g/L	【陽性】食塩摂取過多
3910 6758	比重 1A030-0000-001-901	尿 5~10	6	冷蔵	1~2	試験紙法	1.005~1.030		【高値】脱水症・下痢・嘔吐・糖尿病 外因性滲透圧利尿・腎疾患 【低値】尿崩症・腎不全・腎盂腎炎 尿細管障害・水分多量摂取	
6701	尿沈渣 1A105-0000-001-701	尿 10	6	冷蔵	1~2	(27) 尿・便	鏡検法			
2084 6782	尿糖定量 1A025-0000-004-272 1A025-0000-001-272	24時間 蓄尿 5 随時尿 5	6	冷蔵	1~2	9 尿・便	ヘキソキナーゼ法	蓄尿0.3以下 g/day 随時尿12以下 mg/dL		【陽性】糖尿病・膵障害・肝障害 下垂体機能亢進症・ストレス
8018 6751	尿蛋白定量 1A015-0000-004-271 1A015-0000-001-271	24時間 蓄尿 5 随時尿 5	6	冷蔵	1~2	7 尿・便	比色法 (ヒコロールレッド)	蓄尿31.2~120.0 mg/day 随時尿10以下 mg/dL		【陽性】腎疾患・過激な運動 精神ストレス・起立性蛋白
3553	BJ蛋白定性 1A110-0000-001-920	尿 5	6	冷蔵	2~3		煮沸法	(-)		

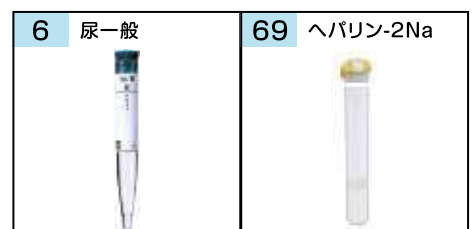
※尿中一般物質定性半定量検査は当該検査の対象患者の診療を行っている保険医療機関内で実施した場合にのみ算定できるものであり、委託契約等に基づき当該保険医療機関外で実施された検査の結果報告を受けるのみの場合は算定できない。ただし、委託契約等に基づき当該保険医療機関内で実施された検査について、その結果が当該保険医療機関に対して速やかに報告されるような場合は、所定点数を算定できる。

尿中一般物質定性半定量検査を実施した場合は、当該検査に係る判断料は算定できない。

※尿沈渣(鏡検法)は当該検査の対象患者の診療を行っている保険医療機関内で実施した場合にのみ算定できるものであり、委託契約等に基づき当該保険医療機関外で実施された検査の結果報告を受けるのみの場合は算定できない。ただし、委託契約等に基づき当該保険医療機関内で実施された検査について、その結果が当該保険医療機関に速やかに報告されるような場合は、所定点数により算定する。

尿路系疾患が強く疑われる患者について、診療所が尿沈渣(鏡検法)を衛生検査所等に委託する場合であって、当該衛生検査所等が採尿後4時間以内に検査を行い、検査結果が速やかに当該診療所に報告された場合は、所定点数を算定できる。

※尿沈渣(鏡検法)は、尿中一般物質定性半定量検査若しくは尿中特殊物質定性定量検査において何らかの所見が認められ、又は診察の結果からその実施が必要と認められて実施した場合に算定すること。



一般検査

尿検査

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
5127	アルブミン定量 (尿) 3A015-0000-004-062 3A015-0000-001-062	24時間 蓄尿 5	6	冷蔵	1~2	99 尿・便	LA	蓄尿 30.0未満 mg/day		【高値】腎炎・ネフローゼ症候群 糖尿病性腎症・高血圧・心不全 感染症・運動・発熱
		随時尿 5						随時尿 30.0未満mg/g・Cr		
3816	トランスフェリン(尿) 5C060-0000-001-062	尿 1	6	冷蔵	3~5	101 尿・便	LA	1.00以下 mg/g・Cr		【高値】早期糖尿病性腎症 尿細管障害
2351	IV型コラーゲン(尿) 5C134-0000-006-023	早朝 第一尿 5	75	冷蔵	4~10	184 尿・便	EIA	随時尿 7.3以下 30歳代 4.0以下 40歳代以上 4.9以下 μg/g・Cr	尿は容器の2本のラインの間に 収まるように添加してください。	【高値】糖尿病性腎症初期・腎不全
2162	NAG 3B330-0000-001-272 3B330-0000-004-272	随時尿 1	6	冷蔵	1~3	41 尿・便	MPT基質法	11.0以下 U/L		【高値】糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 糖尿病性腎症
2164		蓄尿 1						5.0以下 U/L		
3918	コプロポルフィリン(定性) 3J040-1351-001-282	尿 6	6	遮光 冷蔵	3~5		比色法	(-)		【高値】コプロポルフィリン症 鉛中毒・鉄欠乏性貧血・肝障害 δ-ALA脱水酵素欠損性ポルフィリン症
9522	コプロポルフィリン 3J040-0000-001-204	尿 2	6	遮光 冷蔵	6~12	131 尿・便	HPLC	170以下 μg/g・Cr		
9043	δ-アミノレブリン酸 3J075-0000-001-204	尿 2	6	遮光 冷蔵	4~6	109 尿・便	HPLC	mg/L		【高値】鉛中毒・ポルフィリン症 貧血・遺伝性チロシン血症
9321	尿中ウロポルフィリン 3J050-0000-001-204	尿 3	6	遮光 冷蔵	5~11	105 尿・便	HPLC	2~25 μg/g・Cr		【高値】コプロポルフィリン症 ポルフィリン症・肝障害 多ハロゲン芳香族化合物中毒 鉛中毒
9028	ポルフォビリノーゲン 3J065-0000-004-271	蓄尿 3	6	遮光 冷蔵	3~9	191 尿・便	比色法 (Mauzerall- Granick変法)	2.0以下 mg/day	24時間蓄尿し、尿量を 記入して下さい。	【高値】コプロポルフィリン症

※トランスフェリン(尿)、IV型コラーゲン(尿)及び、アルブミン定量(尿)は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3か月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。